

5. 風工学シンポジウムの運営等について

標記シンポジウムの運営について、藤谷理事を通じて風工学会から「幹事学協会が毎回交代するため、長期的な戦略を立てにくい」等の問題点の指摘があり、これを解決するために「シンポジウムの主催を学術会議風工学専門委員会とし、共催は従来通り各学協会とするが、風工学会が副幹事を常任し、風工学会を除く各学協会が交代で幹事を担当する」、「シンポジウム論文集の編集・刊行・販売・保管は風工

学会が担当し、風工学会誌の特集号として発行する」との提案があった。これについて常任理事会として議論した結果、この提案に賛同する旨、回答することに決定。

6. 1994年度事業計画案および予算案

予算案では、郵便料金値上げの影響が心配されたが、気象集誌の印刷経費が低い価格で落札されたため、値上げ分を吸収できる見込み。



シンポジウム「日本の杉枯れの実態とその原因……これまでの調査研究でどこまでわかったか」開催のご案内

杉枯れと酸性雨との関係が報告されてから、約10年近くが過ぎようとしています。その後、これに関して多くの調査研究がされてきましたので、杉枯れの原因について、現在までにわかったこと、また今後なにを研究すべきかについて、第一線で研究されてきた3名の講師の方々にお話しいただきます。その後に、さらに詳しくその原因を議論するために、パネル討論を行います。ご関心をお持ちの方は、ぜひご参加下さるようご案内申し上げます。

日時：1994年6月13日（月）13時～17時

会場：日本化学会 化学会館ホール
（千代田区神田駿河台1-5）

JR お茶の水西口下車徒歩5分

電話 (03) 3292-6163

主催：日本化学会酸性雨問題研究会

共催：大気汚染研究協会酸性雨分科会

第2回シンポジウム名：

「日本の杉枯れの実態とその原因……これまでの調査研究でどこまでわかったか……」

第1部：話題提供

座長（農業環境技術研究所）鶴田治雄

1. 日本の杉枯れ現象の実態

（千葉大学名誉教授）高橋啓二

2. 杉の衰退と大気二次汚染物質との関係

（財）電力中央研究所 梨本 真

3. 生理学的にみた杉の衰退の原因に関する考察

（森林総合研究所）森川 靖

第2部パネル討論（話題提供者を中心として）

座長（東京農工大学教授）戸塚 績

……杉枯れの原因はなにか……

参加費：無料、ただし資料代として500円を申し受けます。

参加申込み方法：郵便または FAX で下記宛にお願い致します。

参加申込締切：6月7日（火）

申込・問い合わせ先：

〒223 横浜市港北区日吉3-14-1

慶応義塾大学理工学部応用化学科 田中 茂

（電話 (045) 563-1141内線3458,

FAX (045) 562-7625)